

# JAC北九だより

No.90 (2019年 第4号) 公益社団法人 日本山岳会 北九州支部 kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club 発 行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部

支部長日 向祥 剛

事務局:福岡県糟屋郡篠栗町尾仲50-17

榊 俊 一 方

TEL/FAX自宅 092-947-3208

携帯 090-8416-4194

編集人:事務局 花田 拓二 印刷:山口県山口市水の上町2-25

内藤製本所

## 「山の日」 今和元年8月11日 日本山岳会北九州支部主催 第4回「山の日記念・家族登山」

14264 丹下



「山の日」横山先生の風頭説明」

(写真:竹本正幸)



「山の日」スイカわり

(写真:竹本正幸)

洽

台風9号も去り、予定通りJR門司港駅を9時出発。清滝公園より企救自然歩道を歩く。途中三角山登山口、高浜虚子の句碑前を通り、もみじ谷の入口で小休止水分補給。アスファルトの車道ですが、木陰が多く意外に涼しい。車道終点でトイレ休憩。これより登山道、この道は「けもの道」と交差し、早朝は「猪」「狸」と出会う事がある。風頭到着、アイス(棒キャンデー)を配る。熱中症対策として首筋を冷やした

後のアイスを食べながら素晴らしい眺めを楽しむ。ここが、かって巨大な淡水湖や海底であったとは。九州産業大学大学院元教授の横山秀司先生(日本山岳会・本部会員)より「山とは・・」について貴重なお話を聞かせて頂きました。この頂きには吉井勇の歌碑、そして日本山岳会の先輩「槇有恒氏」の記念碑があります。ここで大失策、記念写真を撮るのを忘れた!!

風頭(364.3m)・風師山(二等三角点、362.2m)・南峰(365m)を越え、矢筈山へ。かって下関要塞の一部であった為、自然が残り風の吹き抜ける山道です。矢筈山の最低鞍部には旧陸軍省の標識も残っている。この下りはかなりの急坂で、山道に慣れていない方々には難所のようです。鞍部より一登りでキャンプ場到着。弾薬庫跡でクールダウン、年間を通じて温度は16℃、外の暑さとは別世界です。昼食後の子供達の楽しみは「スイカ割り」で一番の盛り上がりで

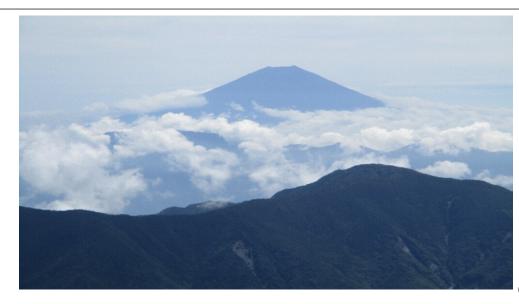
す。スイカは甘くて冷たい。お弁当とは別腹のようです。

下山を前に「平尾台・広谷湿原」のラムサール条約登録 実行委員会の佐々木事務局長より活動の現状や協力に ついての話がありました。平尾台の狭い広谷湿原がラム サール条約に・・・夢があります。活動している東筑紫学園 高校の皆さんへ "エール"を!!

下山の折、先導に不備がありました。今回の反省です。 下山後、ギャラリーカフェ「柳庵」で伊藤久次郎顧問指導の北九州支部版画同好会の作品展の最終日で反省会がありました。今年で三回目、門司税関ギャラリーでの美術展から四回目です。同好会の作品展はもとより、今春田川美術館に於ける「伊藤久次郎と弟子達の版画展」の折、多大なご協力を頂いた方々、本日の「家族登山」にご尽力を頂いた方々への感謝と慰労を兼ねた反省会となりました。毎回ご協力を頂いております「柳庵」に心よりお礼申し上げます。また、今山行に際し門司区役所より山歩きガイドブック、キャンプ場より冷たい麦茶、、毎日新聞社より三色ボールペンとうちわを参加記念品としてご寄附頂き、当日の様子は毎日新聞8月17日(土)北九州版朝刊に掲載されました。心よりお礼申し上げます。

> 参加者(90人) 北九州支部 23人、 京都·滋賀支部:3人 一般 64人(子ども15人)

# 特別山行 8月21日~8月26日 「荒川三山・赤石岳縦走」 **南アルプスにそれぞれの想いを込めて**(ふたこと・みこと)



8月24日 富士山に 見守られて

(写真 竹本正幸)

#### ●コースタイム:

8/21 小倉KMMビル5:00~赤石温泉白樺荘18:30

8/22 白樺荘5:55〜畑薙第1臨時駐車場6:03<東海フォレストの送迎バスを待つ>7:35〜椹島ロッジ8:40 〜登山開始8:50〜小石下(昼食)11:50/12:15〜駒島池15:17〜千枚小屋16:08

8/23 千枚小屋3:17~<雨と強風>~千枚岳直下50m 3:46<撤退>~千枚小屋4:45<1日停滞>

8/24 千枚小屋2:30~<強風>~千枚岳3:45~丸山 4:40~悪沢岳(東岳)5:27<風雨止む>~中岳 6:45~前岳7:07~荒川小屋(昼食)8:20/9:00~ 大聖寺平9:27~小赤石10:50~赤石岳11:46~椹 島分岐12:08~富士見平14:07~赤石小屋14:50

8/25 赤石小屋5:29~ボッカ返し6:09~登山道入り口 8:52~椹島ロッジ9:02~送迎バス10:30~畑薙第 1 臨時駐車場11:35~白樺荘11:50<入浴・昼食> 13:04~多賀SA18:11<夕食・仮眠>

8/26 多賀SA1:06~小倉KMMビル8:51

### 南アルプス登山

14523

榊 俊一

南アルプス登山に、自分の体力挑戦のつもりで参加しました。

8月21日(水)の行程は、男性5人車運転移動で和気あいあいと楽しい旅でした。白樺荘で温泉に入り、夕食後明日からの登山に向けて休みます。

8月22日に、バスで椹島に移動し8時30分から登山開始となり、千枚小屋まで8時間15分のとてつもなく長い登りの連続登山でした。途中年寄りは止めとけばよかったなど頭の中で考えながら気合を入れて先頭リーダに必死

についていきます。

やっと千枚小屋に到着し、夕食後、明日の朝3時出発と 決まり、早々と布団に潜り込みました。

翌日、8月23日は、雨と強風で千枚岳に向かって進みますが、一歩足を踏み出すと同時に強風で体が横にふきとばれそうになります。すぐにリーダの「引き返します」の一言で千枚小屋に戻り(朝4時45分)、休息タイムとなり、今日もここでの宿泊を決め長い休息となりました。

8月24日、千枚小屋で朝食をとり、雨のためカッパを着て2時40分出発、長い登山の始まりでした。千枚岳、丸山(途中で雨がやみ雨具を脱ぐ)、悪沢岳、中岳、前岳と進み、荒川小屋で8時50分に変な時間の昼食となりました。昼食後、小赤石までの急登の連続で、途中何度も休憩を入れながら必死でリーダに離されないよう登っていきました。小赤石を過ぎ目の前に赤石岳が現れ、分岐にリュツクをデポし赤石岳に登りました。遠くに富士山がお出迎えしています。きれいに晴れた天気で山々が素晴らしく頑張って来てよかったなーと思いました。これから先は、赤石小屋までの急な下りと危険な山裾の登山道を慎重に進み、赤石小屋に14時50分で12時間10分の長い登山行程を歩き到着しました。夕食後疲れもあり早々と布団に入り休息でした。

8月25日は、椹島ロッジまでの下りの連続で足や腰にひびいてきます。慎重にリーダのもと下りに3時間半の下山をしました。ロッジで荷物の整理を行い、下山後のご褒美にコーヒーを淹れ、みんなで楽しく反省会をして盛り上がりました。

バスで駐車場まで移動後、車で初日に泊まった白樺荘 で温泉と昼食後小倉まで帰宅です。

8月26日、5人の運転手で交代運転しながら、途中多賀 SAで仮眠をとり、小倉駅に26日8時57分到着しました。



8月24日 悪沢岳

(写真:竹本正幸)

事故もなく素晴らしい登山は、リーダ夫妻の強力な統率と緻密な計画の賜物とみなさまの協力のおかげだと感謝しています。

#### **♦**

#### これ以上ない特別山行 14806 清家 幸三

椹島の登山□から千枚小屋までの一日目を乗り越えることに集中していた。

個人的な理由からの訓練不足があった。予測は的中した。遅れも出てメンバーに心配もかけた。

二日目から少しずつ、自分のペースに戻ることができた。 悪天候で引返して小屋にとどまったものの三日目から雨、 特に強い風も回復して荒川三山へ登頂のころは南アル プスの全景に近い最高の景色に再び会えた。年のせいで もあるまいが涙腺も緩んだ。三日間、富士山がいつもこ ちらを見つめていた。

気象状況を読みコースも変え実行したリーダー、コースリーダーに多くのことを学んだ。そして半年間、第一に掲げた今回の山行の成果に酔いしれている。

#### **♦**

### 両足を踏ん張り、ストック2本 「チビ」の私は大変でした。

16163

中畑智子

8月24日2時40分千枚小屋を出発。雨風強く、ストック2本をしっかり突き両足を踏ん張りながらゆっくり歩かないと進めなく「チビ」の私には大変でしたが、これも早池峰山以来の体験で良い思い出となりました。後はお天気も良くなり素晴らしい景色と多くの花を見る事が出来、疲れも和らぎ楽しい山行が出来ました。男性の方々長い距離の運転を有難うございました。本当にお疲れさまでした。リーダーの竹本ご夫妻いつも有難うございます。

### あこがれて南アルプス

15834

小林 英世

まだ、足を踏み入れたことがなかった南アルプスに同伴させてもらうチャンスが来た。わくわくしながら参加した。 北に比べて、それほど登山者が多くないのは、整備が十分でない反面、自然が残っているということ。アプローチや、登山口から頂上までの行程も長い。第1日目,椹島から千枚小屋まで長かったこと。ようやく着いたとほっとしたところ、小屋の受付責任者の対応のきつさにうっときた。 小屋は、比較的新しく、二重窓などしっかりしている。翌日に備え、夕食後、すぐに眠りについた。食事はうまい。

翌日、3:00過ぎ、雨の中を出発したが、千枚岳頂上間際で、20mの風に押され、やむなく小屋に引き返した。まもなく、男性が二人、同じコースを出かけていった。下山して一人と再会し、風が強い間、かがんで耐えながら、百間洞までたどり着いたという。すごい。我々は、一日休養を取って、コースを短縮し、赤石小屋経由とした。

3日目は、雨の中、2:30に出発したが、少しずつ、風雨も弱まってくれ、悪沢岳あたりからは、晴れて、お花畑や富士山、周りの山々の美しさを堪能した。

4日目は、3~4時間の下山コースであるが、後半、足にきて歩けなくなった。年齢に比して、余分な荷物を持ち続けたのと、アミノ酸の摂取が遅れた。次回からは、荷物の軽量化に努めたい。



#### 三度目に達成 14689

大 内 喜代子

今回の特別山行、南アルプス(荒川三山〜聖岳)は特別な思いで参加。過去に、一回目は台風で登山口への道は不通。二回目は、千枚小屋の夜台風が接近、豊橋に上陸した。小屋に足止めとなり二泊した為、予定のコースを断念することとなり悪沢岳(3,141m)をピストンして椹島ロッジバス停へ下山。今回は果たして・・ 当初は悪天候に見舞われて千枚小屋に二泊しました。聖岳コースを諦め、赤石小屋へのコースで下山することで縦走が可能になりました。三度目にして荒川三山縦走コース達成は私にとって大きな喜びでした。又、尾根コース歩きからは、アップダウンの繰り返しに大いに汗しましたがお花畑を通過する時は、想い出の花々に出会えて12時間コースの時も疲れを感じず楽しい歩きでした。お世話下さった方や一緒に歩いて下さった方々との想い出作りに感謝です。有難うで〜す。

8月24日赤石岳

(写真 竹本正幸)

#### 強風のあとに最高の稜線歩き 14853 竹 本 加代子

荒川三山・赤石岳縦走の周回コースが本山行のルートで ある。日程に余裕がなくエスケープルートの選択となった。 少しばかりは未練はある。16時までに到着しないと食べら れない百間洞山の家のトンカツの夕食。その先、聖岳まで の未知のコース。しかしながら、終わってみれば楽しい山歩 きに変わりはなかった。南アルプスのアプローチの長さに、 山への想いは強く。二日目ストックなしでは飛ばされる風 速20mの強風(まるで台風!)小屋で一日の停滞を余儀な くした。三日目も悪沢岳あたりまで強風に曝され雨具のフー ドを抑え続けた。しかし、その後の稜線歩きは風も収まり快 晴、快適。眺望も良く目指す山、振り返れば歩いてきた山々、 そして富士山。疲れを癒してくれた花々。これだから止め られない縦走登山。有難う南アルプス!有難うメンバーの 皆さん!

#### でっかい南アルプスをのんびり歩いた 竹本正幸

南アルプス、山が大きい。北アルプスに比べて登山者も少 ないためのんびりと歩くことができる。山の懐に抱かれて ひたすら歩いた。強風の中の歩行は体力を使う。千枚岳の 下りは新しい梯子が設置されていたので難なく通過でき たが、赤石小屋への下りでは、要注意箇所が数カ所あった。 南は南の良さがあり、次の計画が次から次に湧いてくる。 皆さんのおかげで無事下山することができました。次の機 会を楽しみにしています。

# 南アルプス一言、二言、三言

私の中では今回が初めての南アルプス山行です。

山行1日目、新登山口から約2時間林道出合で休憩時 に一人が疲れた頭が痛いと訴えられ、見ると一目で脱水 症か熱中症と分かるくらい汗びっしょりで座り込まれた ので、経口補水液(アミノ酸、クエン酸)の薄めたものと炭 酸水を飲んで貰うと歩ける様になり、千枚小屋に向かい ました。

山行二日目、千枚岳に向かったのですが雨、風が強く 稜線に出る前に断念し、千枚小屋で様子を見ることにな り、竹本夫婦は日程変更に伴う明日からのコース設定を 検討されていました。

私はお湯担当なのでガスコンロの片付けをしている時、 後ろでガタッと音がして女性が倒れ込んでいました。取 りあえず椅子に腰かけさせた。見ていた人に毛布を持つ て来てもらい、女性が落ち着いたところで小屋の中に入 れ横にさせた。ツアー参加者だったので、ツアーリーダー と小屋の管理人さんに連絡をしました。その後、町元さん に連絡を取り対処法を確認したところ、ヒートショック、脳 貧血どちらも暖かくしてしばらく休ませたら良いとの返 事で安心しました。

山行三日目 今日は12時間以上歩くとの事で2時30 分の出発でした。

山行四日目 椹島まで1時間半位のところで1人ペー スが落ちたので、聞くと腿の後ろ、ハムストリングスが痛い との事でキネシオロジーテープを貼って無事下山するこ とが出来ました。皆さん有難うございました!!

#### ■Шでのワンポイントアドバイス

熱中症=水分と電解質の補給 脱水症=×悪い物 アルコール コーヒー ○良い物 麦茶 ルイボスティー ヒートショック=急激な温度変化によって血圧が 乱高下したり脈拍が変動する現象。 キネシオロジーテープ=筋肉をサポートするテープ

参加者 8人 榊俊一 大内喜代子 竹本正幸 竹本加代子 縄手修 清家幸三 小林英世 中畑智子

個人山行 6月8日~6月9日(由布岳地形研究山行) 由布岳ブラタモリ的登山

JAC

16382 横山秀司



6月8日 由布岳東峰

(写真: 榊俊一)

昨年の秋に、私が作成した久住山のジオツーリストマップを手にもって、火口や溶岩ドームなどの火山地形を観察しながら登るという、ブラタモリ的登山が好評でしたので、その第2弾として由布岳に登ることにしました。

6月8日(土)9時過ぎに、参加者は由布岳正面登山口に 集合しました。朝方までの雨は上がったものの、由布岳は 雲の中でした。由布岳は四方に側火山をもち、北と南斜面 は火砕流で被われ、頂上付近には約2000年前の溶岩と噴 火口をもつ特色のある火山であることなど、概略の説明 をした後、9時30分より登山を開始しました。野々草火砕 流堆積物上のややゆるやかな草地の斜面から、ミズナラ・ カエデなどからなる樹林の中を快調に登りました(速す ぎるとの声あり)。合野越で休憩後登山再開。由布岳の主 火山の溶岩で形成されたやや傾斜のある斜面では、登山 道はジグザグ道となり、植生はやがて低木林に変化しま した。見晴らしの良い場所で、端整な山体をした飯盛ヶ城 の側火山とやや窪んでいる火口を確認しました。また、正 面登山口の南に東西に連なる山稜(水口山)の北向き斜 面が由布院断層(正断層)による断層崖であること、また この断層崖の一部は慶長元年(1596)の別府湾を震源と する地震によって崩壊し、流山となって津江付近まで到 達したことを説明しました。標高1200m付近の森林限界を 超えると花の時期をやや過ぎたミヤマキリシマが現れる ようになりました。由布岳の森林限界が低い位置にある のは、乾燥しやすい火山地質、風当たりの強い独立峰であ ること、また約2000年前に活動を終えた新しい火山であ ることによるものです。由布岳山頂溶岩(安山岩)が溶岩 ドームを形成し している斜面に変わると、ジグザグ道は 一段と急になり、皆の足の動きが鈍くなりました。11時30 分、ようやく由布岳火口の縁にあたるマタエに到着しまし た。山頂付近で晴れることを期待し

ていましたが、霧で被われていました。ここで昼食を取っ

た後、霧の中、東峰山頂(1580m)を目指しました。山頂での眺望はきかず、由布岳の火口や周囲の山々を見ることができなかったことは残念でした。しかし、霧の中で咲くミヤマキリシマのピンクの花が、冴えて美しく見えました。

この日の宿は、由布院盆地の中にある九州高等学校の研修施設「由布院山荘」。山荘の源泉掛け流しの温泉に入り、足腰の疲れを取りました。

参加者 14人 横山秀司 関口興洋 榊俊一 大内喜代子 小林英世 花田拓二 準会員 太郎良嘉親 支部友 目原礼子 松岡文子 塩谷夕子 星出清美 ビジター 山崎綱雄 高塚晃 近藤和広

ポレポレ山行 7月11日 (城山) **想像以上に綺麗**なウスキキヌガサタケ ビジター 上 野 太



7月11日 城山

(写真 竹本正幸)

7月に続いてビジター参加させて頂いてます糸島の上野と申します。今回はウスキキヌガサダケを見に宗像市の福教大裏山の城山へ登りました。教育大前駅に集合して…いざ出発…登山口の所でどの辺にあるよと情報を頂きました。登り始めて程なくして1本目に出会え、黄色い網目の袴みたいで想像以上に綺麗でした!情報がないと初めての山で探すのは簡単ではありませんね。このお山は、「守る会」の方々が整備されて階段は多いですがとても歩き易いです。 山頂で集合写真撮るのにシャッター押して下さいとお願いした方が…なんと守る会の会長さんで、副会長さんにもお会いできて会話が弾み…タマゴダケにウスキキヌガサダケがある所に案内して頂きました! ルートから外れた所なので、案内して頂かないとやっぱり探せません。下山後は赤間宿を散策して街道の駅・赤馬館でカキ氷を食べて解散となりました。

参加者 12人 原広美 関口興洋 丹下洽 丹下香代子 竹本正幸 竹本加代子 縄田正芳 横山秀司 支部友 立石シマ子 城戸剛 宇都宮美智子 ビジター 上野太 月例山行 8月4日

(内住峡沢登り)

### 久々の沢を楽しみました 16464 松本 重裕

JAC



8月4日 松本さん泳いだのか転んだのか? (写真竹本正幸)

#### ●コースタイム

九郎原駅9:50~林道第一登山口駐車場•準備10:00/10: 10~入渓10:18/10:30~林道内住橋11:47/12:12~終了地点13:27/13:37~林道第一登山口駐車場14:18~九郎原駅14:30 解散

内住峡は、飯塚市の西側に位置し、内住にあります。登山道は三郡山から若杉山の縦走路に出られます。今回は沢登りですので内住川を遡ります。地図を見ると川幅も広く、上流では両岸が岩壁と表示されています。当日は晴れて暑くなりそうなので、沢の中は気持ちがよく山行が楽しみです。

JR九郎原駅に集合し、2台に分乗して、第一登山口駐車 場(林道分岐のゲート前)へ同所で車を止め、着替えやハー ネス等装備をつけ、川沿いの林道を上流へ200m登り、大き なカーブを過ぎたところで、入渓しました。入渓点で沢靴 に履き替えていざ出陣!! 川は澄んで魚の泳ぐのがよ く見えました。入渓点近くは砂混じりのくるぶしまでの深 さでしたが進むにつれて、岩が多くなりゴーロ帯に変わっ ていきました。最初の堰堤は左側を高巻し、再び沢に戻り ました。小さな滝が次から次と現れ、滝ツボの横をへつり、 また、高巻をしたりしながら進みました。川の様子をよく見 て歩きやすいところを探しながら、右に左に渡渉を繰返し ました。岩の上を歩くため、バランスや足の置く位置を考 えなければなりません。地図を見ながら現在位置を確認 するのですが、歩くことに一生懸命で、右側に支流が現れ やっと位置がつかめるといった具合でした。2番目の堰堤 が現れ、これも左側を高巻して沢に戻りました。この時、川 の深さを見誤り股下まで浸かってしまいました。また、渡 渉を繰り返していると内住橋が現れました。ここで、昼食 です。

食事後、岩の上を伝い歩きしながら、進むと大きな釜を持った滝が現れ、泳ぐか、へつる又は高巻するか迷うことになりました。泳ぎ1人、へつり2人、のこりは高巻で通過しました。次は、落差5から6mくらいの滝で滝壺に放物線を描きながら落ちていましたので、右側をへつりました。滝上部はなめになっており、注意しながら歩きました。そのあと、7mくらいの滝でしたが左側が切れたっていました。そこをへつって滝横まで行きましたが水量が多くて滝の中に入れず、ザイルをつけてよじ登りました。少し進むと3番目の堰堤が現れました。堰堤手前の左側岸を登り、林道に出ました。ここで終了地点です。装備や沢靴等をほどいて、駐車場に戻り、九郎原駅に移動して解散となりました。

この沢は、明るく川幅も広く、快適でしたので何度も通いたいと思いました。

私は、久しぶりの沢登りでしたので、渡渉、高巻、へつりやゴーロの歩き方を思い出しながら楽しい登山が出来ました。皆さんも一度は沢登りを経験してください。

最後に計画していただいた竹本副支部長に感謝です。 ありがとうございました。

#### ●ワンポイントアドバイス

沢登りの簡単な用語です。参考にして読んでください 釜=渓谷にある円形の淵

滝の下にできるものは滝壺と区別する。

高巻=直登困難な滝や通過困難なゴルジュを避けて 山腹に上がって高く巻くようにのぼり再び沢床 に降り

ゴルジュ=渓谷の両壁が細く狭まったところ。

- へつり=沢などで水際の岩壁をへばりつくようにして 横に進むこと。沢登りでのトラバースのこと。
- なめ=滑滝。なめらかな岩の上を水が岩に密着して 流れているところ。

歩行時は滑りやすいので注意が必要。

- ゴーロ=傾斜が緩やかで岩石が点在している河原。、 大きな石や岩がゴロゴロと転がっているところ。 (同様な登山道はガレ場と言う)
- 遡行図=沢のルート図、滝の位置や高さ、ゴルジュの位置や長さ高巻のルートなどきしたもの。 ちなみに滝はFで表す

参加者 7人 竹本正幸 竹本加代子 赤瀬榮吉 奥田スマ子 清家幸三 小林英世 松本重裕 10月発行 JAC 北九だより 第90号 2019年(令和元年) (7)

第1回山岳専科 6月9日

山岳専科に参加して「歩行技術 他」 北九179 網塚陽子



6月9日山岳専科

(写真 三浦利夫)

6月9日 8:30 帆柱立体駐車場に集合して、令和元年度第1回の技術講習会が始まった。

曇り空の中、参加者を2班に分けて「煌彩の森コース」を歩いた。リーダーから歩き方や休憩の取り方、脈をはかりながら個人に見合った適正な運動量の計算方法のアドバイスなどを受け、気づくと普段個人で歩くときよりも正しい歩き方に近づいたのか、からだが楽に歩けたように感じた。ビジターセンターに10時15分に到着。講師の園川先生の座学を聴く。理論は難しいが、先生の身振り手振りの体験談などをまじえながらの説明は面白く、「スポーツとしての登山」を意識する。また、参加された指導員クラスの方々のテーマ毎の説明も各々工夫されて分かりやすかった。

「歩く」という事に漠然としか意識をしていなかったが、 今回参加して改めて基本の大事さを感じた。会をご準備 いただいた三浦さんをはじめ、ご一緒に参加した皆さま 有難うございました。

#### 講師 園川陽造顧問

参加者 9人 赤瀬榮吉 森本信子 縄手修 三浦利夫 三宅明子 松本重裕 網塚陽子 山下香代子 木戸恵理



6月9日 山岳専科

(写真三浦利夫)

### 第2回山岳専科 9月1日 「気 象」

北九512 宇都宮 浩



9月1日山岳専科

(写真 三浦利夫)

支部会員の宇都宮2年目です。 山岳歩行、平尾台地図 読み、レスキューと今回で4回目の講義です。異常気象が続 く佐賀での豪雨の週、帆柱駐車場も朝は激しい雨のなか 車道を通り、9時出発10時30分到着、準備後消費カロリー の話をしながら昼食11時15分から講義を受けました。天気 図が読めないと山へ行くこともできない、指導員5人の方 から高気圧、低気圧、気圧の谷、前線、不連続線の説明を受 け顧問から補足説明。高気圧の風向きは上から下へ右向き で、低気圧は左向きで上に雲ができ、雨が降る前線上では 温度差で雷が発生。岩を避け逃げる。天気の予測雲を見る。 風を感じて観天望気を行い気象に強くなる。三浦CLから の沢山の資料も勉強になりました。最後に顧問から娘さん と2週間のオランダ、ベルギー、フランス旅行ではG7の日本 人は世界でも優遇されてます。南フランスの山へ一緒にい きましょうと話されました。14時30分出発小雨のなか15時 30分下山しました。下山時指導員の方と課題について話し ました。平均年齢70歳と高齢化が進んでいますが山ブー ムなのに20代~40代の割合が少なく今後の組織も心配で す。今回の支部員参加は2人と少なく10人くらいは参加を 目指してもらいたいですね。ビジターは現在1回で決断な ので秋と春に会員さんが大丈夫なお友達に声をかけて新 会員向け山行、講習をして3か月の間くらいで決断しても らったら良いのではと思います。登山の基本、ルール、マナー を山に登ってる若者に教えるのも指導員の役割ではない かと思います。指導員の方から小倉サロンでは山の質問、 山行き計画の相談などコミュニケーションの場にしていま す。若い人が増えるといいですね。私が三俣山御鉢巡りで 会った下関こもれびの会は50年の歴史ある会ですが20 人の半分は20代~30代の女性の若いグループで楽しく登っ てました。

#### 講師 園川陽造

参加者 7人 赤瀬榮吉 三浦利夫 清家幸三 三宅明子 松本重裕 網塚陽子 宇都宮浩

# くお知らせ> 行事・山行・計画

#### ●年次晩餐会のご案内

まだ、本部から連絡はありませんが、毎年恒例の本部行事「年次晩餐会」が12月7日~8日に開催される予定です。 追って、本部からの開催通知が届き次第HP等で連絡します。

参加希望者は、本部のHPにも注意しておいてください。 参加については、まとめて本部に連絡しますので、参加希望の方は心づもりください。

#### ●宮崎支部全国支部懇談会

宮崎支部から案内がありました。

1期 日 2020年5月16日(土)~17日(日)

2 宿泊地 宮崎市青島

「ANAホリデイ・インリゾート宮崎」 TEL:0985-65-1555 0985-65-2655

3 参加資格 日本山岳会会員、準会員および関係者

4 定 員 150人

5 参加費用 20,000円 1泊2食

(懇親会・17日弁当・飲み物・バス費用含む)

6 申込期間 2019年12月1日~2020年1月31日 (支部単位で一括申し込み)

7日 程1日目5月16日(土)

13:00~受付開始

15:00~開会式、記念講演会

17:00~自由行動(入浴等)

18:30~夕食•懇親会

20:30~二次会

2日目 5月17日(日)

7:00~朝食

8:00~登山等に出発(バスで移動)

- ① 登山:双石山(ぼろいし山、509m) ホテルと登山口間はバスで約20分 双石山登山の行動時間約4時間、 14~15時にホテル着・解散予定
- ② 日南海岸散策:青島、鵜戸神宮などを バスで案内
- ③ 自由行動

登山後ホテルで温泉(入浴)は、無料です。 当日、双石山下山後、ホテルに到着したら、 ホテルフロントでタオルをもらって、温泉 (入浴)へ行って下さい。

8 締め切り 2020年1月10日(期日厳守)

9 申込み先 北九州支部事務局 榊 俊一

092-947-3208 090-8416-4194 oskfssakaki@cameo.plala.or.jp

#### ●第35回宮崎ウエストン祭のご案内

1 期 日 令和元年11月3日(日)~4日(月)

2 会 場 高千穂町五ヶ所高原「三秀台」

3 概 要 3日 午後4時 式典及び地元関係者による

交流会

午後5時30分 地域交流会 午後8時 他支部との交流会

4日 記念山行は阿蘇五岳の一つである 根子岳(1433m)を予定しています。

4 宿 泊 高千穂町五ヶ所公民館

5 申込み 町元里香 090-9572-6939

6 締切り 10月17日(木)

7 その他 詳細は参加者へお知らせします

#### ●広島支部との交流会

1 日 程 令和2年2月15日(土)~2月16日(日)

2 担 当 町元里香 090-9572-6939

3 内 容 スノーシューなどを使った雪山ハイクを予定 していますが、

詳細は次回支部報でお知らせします。

### ●忘・望年の集い及び忘・望年登山(予告)

- 1 忘・望年登山は、12月14日(土)、八面山散策を計画中です。また、
- 2 忘・望年の集いを、12月14日(土)、ふるさと回想館「八面山荘」(中津市三光田口3572番地4)にて行います。

八面山荘の HP: https://www.city-nakatsu.jp/kankodocs/2014073100015/

宿泊:2,000~2,500円

宴会:3,000円~4,000円程度

朝食:680円

これまでの山行、来る年の山行を語り合う機会、多くの参加を期待しています。

忘・望年の集いあるいは、忘・望年登山のいずれかの参加も可

具体化したら、HP等での掲載を考えています。 北九州支部のHPを注視ください。

> ホームページのアドレスは、北九だより No.90-10月号の12ページ No.89-7月号の 1ページ を参照ください。

10月発行 JAC 北九だより 第90号 2019年(令和元年) (9)

## 11月の月例山行・専科

#### ●国見岳(1739m)紅葉登山

脊梁の盟主を長い稜線をたどって周回する紅葉登 山です。

1リーダー 町元里香

2期日11月10日(日)

3 集 合 万家荘渓流キャンプ場

4 時 間 午前6時30分

5 行 程 新登山口~国見岳~小国見岳~

~五勇山~烏帽子岳~烏帽子岳登山口

コースタイム:7時間程度

歩行距離:約13km

6 装 備 通常登山装備一式

7 申込み 町元里香 090-9572-6939

8 締切り 10月14日(日)

9 その他 前泊を希望される方は民宿での宿泊を 考えていますので,早めに申込みをして

ください。

前日(11/9(土))に白鳥山登山を考えて います。

### ●国東半島峯道ロングトレイルコースT-3

1 リーダー 藤原玲子

2 期 日 11月24日(日)

3 集 合 スパランド真玉駐車場

4 時 間 午前 8:00 集合

5 行 程 並石ダム~長安寺~天然寺~椿堂

6 申込み 藤原玲子 090-8837-9038

reiko0321@i-next.ne.jp

7 締切り 10月31日(木)

8 その他 下山後は、仙人湯温泉に入りますので着替 え,入浴セットを持参して下さい

#### ●第3回山岳専科(令和元年度)

1リーダー 三浦利夫

2 テーマ 読図実地講習(平尾台)その他 雨天の場合机上講習(平尾公民館)

3期日12月1日(日)

4 集 合 平尾公民館 駐車場

小倉南区平尾台2丁目6-1

(平尾台自然観察センター道路向かい北側)

5 時 間 午前8時45分集合

6 携行品 通常登山装備一式・コンバス 高度計(任意)・筆記具・昼食

7 申込み 三浦利夫 090-2850-6020

8 締切り: 11月10日(日)

9 会場費用 300円/人程度

# 1 月の月例山行・研修

#### ●英彦山「新春登山」

1期日1月5日(日)

2 集 合 別所駐車場

3 時 間 午前8時30分集合

4 行 程:別所駐車場~豊前坊登山□~北岳~中岳~ 別5所駐車場

コースタイム:4時間程度 5 携行品 一般登山装備

6 申込み 和田敦子 090-9499-8193

azur7638@gmail.com

7 締切り 12月1日(日)

### ●立石山と糸島カキ満喫登山

~展望のよい立石山に登り、糸島のぷりぷりのカキを堪能しましょう~

1期日1月26日(日)

2 集 合 JR筑前前原駅 午前9時00分

モデル列車(地下鉄) 博多(8:23)===

筑前原(8:58)

3 行 程 筑前前原駅前(9:35)・・・・・ 芥屋(10:03)バス

登山口(10:15)~立石山(11:20~11:40)~登

山□(12:40)徒歩にて岐志地区のカキ小屋

へ 移動(約30分)

カキ小屋にてカキを堪能(13:10~15:40) 岐志

(15:55) \*\*\*\*\* 筑前前原(16:20)

筑前前原(16:37)===博多(17:14)地下鉄

4 申込み 三宅明子 090-1510-1311

メール akkorose.27@gmail.com

5 締切り 1月5日(日)

6 その他 昼食は持参せず、行動食で十分です。

カキ小屋は飲み物の持ち込み可能ですので、 当日、筑前前原駅のコンビニで買出しをしま

す。

(10) JAC 北九だより 第90号 2019年(令和元年) 10月発行

### ●第3回指導員研修会

1日 時 令和2年1月12日

2場 所 玄海青年の家

3 内容 検定試験

4 締切り 令和元年11月30日

5 申込み 清家幸三 090-8664-4411 ※会員番号をご記入の上SMS又はメールで

## 2月の月例山行・専科・案内

#### ●三俣山 「冬山訓練」

1リーダー 竹本正幸

2 期 日 令和2年2月23日

3 集合場所 大曲の駐車場

4 時 間 8時30分集合

5 携 行 品 アイゼン、ピッケル、ヘルメット他 冬用装備一式

6 締め切り 令和元年12月10日

7 申 込 み 清家幸三 090-8664-4411 ※会員番号を記入の上SMS又はメールで

#### ●第4回山岳専科(令和元年度)

※第4回回山岳専科の会場は検討中

1 リーダー 三浦利夫

2 テーマ レスキューその他

3 期 日 2月2日(日)←支部報7月(2/1誤り)

4 集 合 皿倉山ケーブルカー山麓駅駐車場

5 時 間 午前8時30分集合

(ビジターセンターまで徒歩で移動予定)

6 携行品 通常登山装備一式•筆記具•昼食

7 申込み 三浦利夫 携帯090-2850-6020

8 締切り 1月12日(日)

#### ●ポレポレ会のご案内

10月31日(木) 日ノ岳 (イノシシの焼肉)

【山口県美祢市】

11月14日(木) 西叡山•高山寺(六郷満山)

【国東半島】

1月9日(木) 御許山 (初詣)

【大分県宇佐市】

2月27(木) 鯖釣山 (豊浦の名峰)

【山口県豊浦町】

3月26日(木) 六ケ岳 (ショウジョウバカマ)

【宮若市/鞍手郡】

ポレポレ会来年度の計画打ち合わせ会 11月30日(土) 9:30からルームで

午前中 映画「氷壁」上映会

午後 計画・打合せ会

集合時間や行程についての問い合せ先

丹下 洽 090-3732-8843

# ご協力のお願い

#### ●英彦山山頂トイレ清掃

北九州支部の皆様、ご協力ください!!当支部の清掃当番は、下記の通りです。

11月20日(水) 1月1日(水)

2月12日(水) 3月25日(水)

参加できる方は、3週間前に申し込みください。

自然保護担当 奥田スマ子 080-8589-0903

# サロンのおさそい

### ●小倉サロンのおさそい

1日 時 令和2年2月6日(木)17時30分から

2場 所 ルーム

3 内 容 ビデオ鑑賞 冬山登山

その後、会食&懇談会 20時までに閉会

4 会 費 1,000円程度

5 申込み 清家幸三 090-8664-4411

電話他、SNSにて

### ●博多サロンのおさそい

1日 時 11月14日(木)18時30分から

2場 所 ぶあいそう博多築紫□店

※ 元の丸海屋博多駅築紫口店です

3 会 費 3,780円(食べ飲み放題)

4 申込み 赤瀬榮吉 090-7475-9748

5 締切り 11月7日(木)

### ●会員の異動及び会員数

•会員異動 城戸剛会員

支部友から通常会員(16526)

2019.7.17付

•会 員 数 116 人 (2019.8.29現在)

通常会員 66人 支部友 42人

準 会 員 4人 会 友 4人

······

10月発行 JAC 北九だより 第90号 2019年(令和元年) (11)

会務報告

# 令和元年9月定例役員会

事務局

#### ●令和元年9月定例役員会議事録

1 日 時 令和元年9月4日(水) 18時~19時40分

2場 所 当支部ルーム(毎日会館1F)

3 出席者 丹下洽 竹本正幸 榊俊一 小林英世 丹下香代子 赤瀬榮吉 縄田正芳 縄手修 花田拓二 塚本久嘉 町元里香 馬場基介 打\*サ\*-バ-伊藤久次郎顧問

欠席者 日向祥剛 関口興洋 清家幸三 奥田スマ子

#### 4 議 題

- (1) 会員の異動状況 (総務委員長報告)
  - ① 新入会員

通常会員 城戸 剛(16526)

準会員 一

支部友 田中 眞一(北九522)

田中 優子(北九523)

益野 康一(北九524)

② 退会者:

通常会員 藤田 優(11459) 無所属

準会員 一

支部友 一

③ 会員数

通常会員 65人

準会員 4人

支部友 43人

会友:4人 合計 116人 (2019.7.11現在)

(2) 会費納入状況

未納者 通常会員 5人 支部友 3人

(3) 山行•行事報告

7月7日(日) ラムサール条約実行委員会

イベント参加(井筒屋)(7人)

7月10日(水) 第1回20周年実行委員会 (13人)

7月11日(木) 城山(筑前東郷) (ウスキ・キヌガサ タケ)ポレポレ (13人)

7月17日(水) 英彦山山のトイレ (5人)

8月4日(日) 内住峡沢登り (7人)

8月11日(日) 山の日 (北九会員26人・(会員の

うち京都・滋賀支部3名)

(支部友5人)

(一般参加59名 うち小中学生13人)

合計90人

8月17日(土) 救急救命講習受講 (9人)

8月21日(水)~26日(月) 南アルプス(荒川三山) 赤石岳・聖岳(特別山行)(8人)

8月28日(水) 英彦山山のトイレ

8月29日(木) 尾ノ岳・菊池渓谷 (バスハイク) ポレポレ 10月4日に延期

9月1日(日) 第2回山岳専科 (8人)

(4) 山行•行事計画

9月4日(水) 定例役員会

9月7日(十) 森林保全巡視活動 (立花山)

9月8日(日) 西登会からの要請

ロープワーク講習、実施

9月14日(土)~15日(日) 傾山テント泊

9月21日~22日 三倉岩登り (広島支部との交流) 中止

9月20日(金) ~24日(火) 北アルプス(槍ヶ岳) 中止

9月28日(土) ~29日(日) 支部合同会議(支部長、 事務局長)

9月29日(日) 由布岳

10月6日(日) 第2回指導員研修

10月9日(水) 英彦山山のトイレ

10月20日(日) 槙 有恒碑前祭

10月26日(土) ~27日(日) 志々伎山・佐志岳・ 上段ノ野 (民宿泊)

10月31日(木) 家裁登山サポート

11月3日(日) ~ 4日(月祭) 宮崎ウエストン祭

11月6日(水) 定例役員会

11月7日(木) 延永小学校英彦山登山サポート (6人要請)

11月10日(日) 国見岳

11月17日(日) 第3回山岳専科

11月20日(水) 英彦山山のトイレ

11月24日(日) 国東ロングトレイル T3

(5) ポレポレ会

9月12日(木) 特牛岳(コットイ)

10月31日(木) 日ノ岳(湯の口)猪の焼肉

11月14日(木) 叡山・高山寺(六郷満山)

#### 審議事項

(1)20周年記念行事について

役割分担は別紙参照

- ① 20周年記念誌を発行するか。
- ② 記念山行は風師山にて槇有恒祭

JAC

- ③ 海外記念登山 玉山 10月下旬から11月初めで 三宅明子が資料を集める。 (田中幸弘サポート)
- ④ 国内記念登山槍ヶ岳集中登山8月
- (2)「槇有恒碑前祭」(10月20日)について 担当者 関口興洋監事 副 榊事務局長、丹下副委員長 名札の整理 小林総務委員長

(3)会報副委員長および郵送および住所印刷担当者 決定

広報副委員長に太郎良嘉親会員を追加 編集委員会を開催してほしい。

- (4) 入会のご案内修正版決定及び作成 支部長の原稿待ち
- (5) 支部ホームページの進捗状況

締切り10月10日

- (6) 支部長に臨時役員会招集を依頼する。
- (7) 槇有恒祭の時に吉村健児初代支部長の槇有恒に関する資料をPPにて紹介する。
- (8) 顧問の役職を規約に明文化して役員会にも参加できるようにする。
- (10) 役員の定年制については支部長参加で決める。
- (11) 10月9日18時より毎日会館テナントの懇親会 参加者は今月中に丹下まで
- (12) 本部講習会で使用する資料を支部の講習会でも 使用したい。

文責 竹本正幸

次回役員会 11月7日(木) 予定

●日本山岳会 北九州支部

# ホームページを開設

ホームページのアドレス

http://jac-kitakyushu.jp/ 年間計画や月例山行などは

ホームページ から 申し込みができます。

ホームページ開設に伴い、

「登山計画書」の **提出先**は下記に変更します) anzentozan@jac-kitakyushu.jp

ホームページは身近なものです。 活用しましょう!!

●「北九だより」No.89-7月号(前回)の一部に 記載漏れや誤りがありましたので、お詫び し、訂正いたします。

P12 記載漏れ 正 米澤眞智子 誤 米澤眞智

P14 ユースホステル電話番号

P14 **正 猟師山** 誤 漁師山

別表計画一覧表 山岳専科・日程 正 2/2 誤 2/1

#### ●編集後記

2回目の編集・割付作業、行事締め切り前までに 皆様に配布できなくて、誠に申し訳ありません。 次回からはスピーディーな編集を心掛けねばと

思う"亀仙人"のつぶやきです。

早めにお届けできるよう頑張ります。 「捨てきれない 荷物のおもさ まえうしろ」

山頭火

広報委員長 花田拓二

# 居酒屋 「コール天」

●場所: 小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F TEL:093-522-0565

JR歴児島本線 小倉駅南口から ※中央銀天街方面に向かい徒歩5分

※北九州支部は小倉サロンでお世話に なっています

禁州方面《汉经群七至行》

